

事業シート(令和4年度決算)

事業名	20130 公共施設等総合管理計画推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(5)	長期的な視点による公共サービスの提供	
			項	1	総務管理費		公共施設等総合管理計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	1	一般管理費		根拠計画			
担当課	総務部 行政経営課	内線	2478							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公共施設の効果的な整備や統合、利便性が高く効率的な管理運営を進める。	概要	・高山市公共施設等総合管理計画に定める個別施設の方針に基づき、市民や関係団体等との合意形成に留意した対応を進めるほか、進捗に応じた計画のローリングを行う。 ・公共施設整備等官民連携(PPP)を活用した効果的な施設整備や、指定管理者制度等の活用による適切な施設運営を進める。
----	-------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

	R3	R4	R5			
			最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算
歳出事業費 (職員人件費を除く)	200	99	390	390	130	31
特定財源						
国費( )						
県費( )						
その他( )						
一般財源	200	99	390	390	130	31
個票枝番	主な事業内容					
	200	99	200	200	99	
			190	190	31	31

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算	実施計画額	400	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
510	500	500	110
510	500	500	110
査定額	説明		
200			
300	指定管理者選考委員会の増(2回→4回)		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市公共施設等総合管理計画の推進に向けて、公共施設等総合管理計画推進本部会議及びワーキンググループを開催し、情報共有や連携を図りつつ計画に基づく取り組みを実施した。</li> <li>・公共施設整備等官民連携(PPP)に関する各種セミナーに参加し情報収集するとともに、市内事業者等を対象としたPPPに関する研修会を開催し、基礎情報や取り組みの進め方、最新動向や事例などについて学ぶ機会を提供した。(参加事業所:38社、61名)</li> <li>・民間事業者からの意見聴取(サウンディング型市場調査)を行い、高根多目的センター等のPPP導入に向けた詳細検討を実施した。(結果、従来手法を選定)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市公共施設等総合管理計画の取り組みや進捗状況について情報共有や連携を密にすることにより、全庁的な意識の醸成や計画の着実な推進に繋げることができた。</li> <li>・PPPに関する各種セミナーへの参加や市内事業者を対象としたPPPに関する研修会の開催により、専門的な知識の習得や全国の先進事例の収集を進めるとともに、今後の事業展開に繋がるネットワークを形成することができた。</li> <li>・サウンディング型市場調査の効果と課題が明確になったため、個別施設のPPP導入検討を進める際の留意点を把握することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市公共施設等総合管理計画に基づく取り組みを進める。</li> <li>・PPPについて、民間事業者へのサウンディング型市場調査の実施やVFMの算定、従来手法との比較など、個別施設のPPP導入検討を進める。</li> </ul>

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市公共施設等総合管理計画の推進に向けて、行政経営推進本部会議を開催し、情報共有や連携を図りつつ計画に基づく取り組みを実施した。</li> <li>・公共施設整備等官民連携(PPP)に関する各種セミナーに参加し情報収集するとともに、市内事業者等を対象としたPPPに関する研修会を開催し、基礎情報や取り組みの進め方、最新動向や事例などについて学ぶ機会を提供した。(参加事業所:27社、40名)</li> <li>・指定管理者制度について、コロナ禍における影響や燃料費・電気使用料等の高騰への対応など、指定管理者制度運用ガイドラインに基づき指定管理者と協議をしながら、適正に運用した。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市公共施設等総合管理計画の取り組みや進捗状況について情報共有や連携を密にすることにより、全庁的な意識の醸成や計画の着実な推進に繋げることができた。</li> <li>・PPPに関する各種セミナーへの参加や市内事業者を対象としたPPPに関する研修会の開催により、専門的な知識の習得や全国の先進事例の収集を進めるとともに、今後の事業展開に繋がるネットワークを形成することができた。</li> <li>・指定管理者制度について、指定管理者制度運用ガイドラインに基づき、適正に運用することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市公共施設等総合管理計画に基づく取り組みを進める。</li> <li>・PPPについて、民間事業者へのサウンディング型市場調査の実施やVFMの算定、従来手法との比較など、個別施設のPPP導入検討を進める。</li> <li>・指定管理施設における指定管理者の更新手続を進める。</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	・公共施設の総合的な管理運営に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

07\_行政経営課\_2

事業名	20220 行政経営推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	着実な計画の推進	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略		
			項	1	総務管理費	根拠計画	行政経営方針		
			目	2	人事管理費				
担当課	総務部 行政経営課	内線	2478						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・持続的な発展を可能とする市民協働と行政基盤の強化を図る。	概要	・行政経営方針を具体的に進めるため、実施計画に定める項目に取り組む。 ・行政経営推進委員会から、市の行政経営の取り組みに対して意見聴取し、今後の取り組みに反映させる。
----	-------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「市民、地域、行政が協働してまちづくりに取り組んでいる」と感じている市民の割合	58.5%	53.9%	↗
職員数(正職員・再任用職員・会計年度任用職員)	1,432人	1,436人	1,403人
「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じている市民の割合	56.3%	52.1%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	705	233	500	451	311	78
特定財源						
国費( )						
県費( )						
その他( )						
一般財源	705	233	500	451	311	78
個票枝番	主な事業内容					
	705	233	500	451	311	78
	行政経営推進委員会					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
500	500	500		
500	500	500		
査定額	説明			
500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度における行政経営の取り組み(84項目)のうち、62項目について実施した。</li> <li>令和3年7月及び、12月に行政経営推進委員会を開催し、行政経営方針の進捗確認を行うとともに、DX推進計画等について意見聴取した。</li> <li>実施計画における進捗管理の区分、目標に向けた計画や成果が分かり易い様式へと見直した。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等総合管理計画と合わせ行政経営方針に掲げる取り組みの着実な推進を図るとともに、新たに策定するDX推進計画について審議する場と位置付け、外部有識者の知見を取り入れつつ全庁挙げて推進できる体制を整えられた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政経営方針の一層の推進を図るとともに、次期方針の策定に向けた準備を進める。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度における行政経営の取り組み(83項目)のうち、64項目について実施した。</li> <li>令和4年7月及び、令和5年3月に行政経営推進委員会を開催し、行政経営方針の進捗確認を行うとともに、DX推進計画のロードマップについて意見聴取した。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等総合管理計画やDX推進計画などを含め、行政経営方針に掲げる取り組みの着実な推進を図ることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政経営方針の一層の推進を図るとともに、次期方針の策定に向けた準備を進める。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・行政経営の推進に必要な経費を計上
---------------------	-------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

07\_行政経営課\_2

20220

事業シート(令和4年度決算)

事業名	21400 デジタル推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	着実な計画の推進	市長公約	強く! ~自然と向き合い暮らす強さ~ 便利で強い社会基盤を整備します
			款	2	総務費		まちづくり戦略			
			項	1	総務管理費	根拠計画	過疎地域持続的発展計画 DX推進計画			
			目	14	情報化推進費					
担当課	総務部 行政経営課	内線	2457							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者目線のデジタル化により“便利”な行政サービスを提供する。</li> <li>デジタル技術の活用等により“快適”な暮らしを実現する。</li> <li>デジタル社会の恩恵が享受できる“活気”ある地域づくりを進める。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報システムやネットワークを整備、維持管理するとともに、効果的に運用する。</li> <li>最新のデジタル技術の活用や各種手続のオンライン化を進めるとともに、情報セキュリティ対策の徹底を図る。</li> <li>デジタルデバイド(情報格差)に適切に配慮しつつ、DX推進計画に基づく各種の取組みを進める。</li> </ul>
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
オンラインで可能な手続きの割合	18.2%	30.6%	90%
「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じている市民の割合	56.3%	52.1%	↗
市民のマイナンバーカード取得率	45.5%	70.7%	90%
セキュリティ重大インシデントの件数	0件	0件	0件
専用ページで公開するオープンデータの総数	14件	99件	50件

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3		R4				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	420,016	402,679	414,300	424,906	414,589	11,910	
特定財源							
国費 ( 社会保障・税番号制度関連システム整備事業費 10/10 等 )	5,564	2,864	16,060	20,465	25,564	22,700	
県費 ( )							
その他( 広告事業雑入、事務所等使用雑入、飛騨高山ふるさと基金繰入金 等 )	14,130	11,527	4,350	7,450	8,000	△ 3,527	
一般財源	400,322	388,288	393,890	396,991	381,025	△ 7,263	
個票枝番	主な事業内容						
	情報資産の維持管理、情報セキュリティ対策	177,540	177,481	169,400	169,400	168,012	△ 9,469
	情報資産の借上げ、保守	113,210	112,879	124,540	124,540	122,573	9,694
	情報処理業務の委託	54,000	51,655	54,000	54,000	49,714	△ 1,941
	情報システム運営費等の負担	22,886	22,424	26,400	26,400	25,296	2,872
◎ 1	DXの推進	46,180	32,322	33,060	43,666	42,097	9,775
	情報資産の購入、工事	200	198	6,900	6,900	6,897	6,699
	地理情報システム(GIS)の多目的利用	6,000	5,720				△ 5,720

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		423,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
443,200	431,600	431,600	17,300	
19,114	7,774	7,774	△ 8,286	
3,380	3,340	63,340	58,990	
420,706	420,486	360,486	△ 33,404	
査定額	説明			
165,500				
127,840				
56,600				
32,500	システム更新、拡充ほか			
49,160	オンライン申請、システム標準化、AI・RPA活用、電子契約ほか			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報システムのソフト保守及び機器保守、機器賃貸借、情報システムの維持管理、情報処理業務の委託</li> <li>市ホームページやメール配信による各種行政情報の提供</li> <li>情報セキュリティ強化対策システムの運用</li> <li>地理情報システム(GIS)の多目的利用</li> <li>汎用電子申請システム等を活用した行政手続のオンライン化の拡充</li> <li>AIチャットボットやAI顔認識システム、RPAの活用</li> <li>テレワークやテレビ会議の通信環境拡充</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政手続オンライン化の拡充、AIチャットボットによる問合せに24時間対応できる環境整備により、市民の利便性向上や事務効率化が図られた。</li> <li>テレワークの推進、テレビ会議の活用促進により働き方や意識の改革が図られた。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイナンバーカードを活用した行政手続のオンライン化の推進、基幹情報システムの標準化、AI・RPAなど先端技術の活用、テレワークの推進などデジタル・トランスフォーメーションのさらなる推進に取り組む。</li> <li>公共施設における公衆無線LANの整備など個人端末やテレビ会議の普及に対応したネットワーク環境の充実を進める。</li> </ul>	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>汎用電子申請システム等の活用や書面・対面規制等の見直しによる行政手続のオンライン化</li> <li>行政手続のオンライン化に係る申請管理システム等の導入</li> <li>マイナンバーカード所有者の転出・転入手続のワンストップ化に係る住民記録システムの改修</li> <li>AIチャットボットやAI顔認識システム、RPAの活用</li> <li>テレワークやテレビ会議の活用推進</li> <li>情報セキュリティ強化対策システムの運用、ファイル送受信のセキュリティ強化</li> <li>公共施設公衆無線LANの整備</li> <li>地理情報システム(GIS)の多目的利用</li> <li>市ホームページやメール配信による各種行政情報の提供</li> <li>情報システムのソフト保守及び機器保守、機器賃貸借、情報システムの維持管理、情報処理業務の委託</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>本格的な行政手続オンライン化に向けた例規整備のほか、まちなかの人流計測等におけるAI技術の活用や大量で定期的に行う業務におけるRPAの活用などにより、市民の利便性向上や行政の事務効率化が図られた。</li> <li>テレワークの推進、テレビ会議の活用促進により働き方や意識の改革が図られた。</li> <li>サイバー攻撃や不審メールが引き続き増加しており、セキュリティリスクへの対策を引き続き強化していく必要がある。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイナンバーカードを活用した行政手続のオンライン化の推進、基幹情報システムの標準化、AI・RPAなど先端技術の活用、テレワークの推進などデジタル・トランスフォーメーションのさらなる推進に取り組む。</li> </ul>	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX推進計画に基づき、デジタル技術のさらなる活用による市民サービスの向上と業務効率化に必要な経費を計上</li> </ul>
財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおりに</li> </ul>

## 主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	21400 デジタル推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	会計	1	一般会計	担当課	総務部 行政経営課
枝番・内容	1 DXの推進		<input checked="" type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	2		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	1	総務管理費	内線	2457
			<input type="checkbox"/>		目	14	情報化推進費	作成年月	R5.8

## 事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者目線のデジタル化により“便利”な行政サービスを提供する。</li> <li>・デジタル技術の活用等により“快適”な暮らしを実現する。</li> <li>・デジタル社会の恩恵が享受できる“活気”ある地域づくりを進める。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報システムやネットワークを整備、維持管理するとともに、効果的に運用する。</li> <li>・最新のデジタル技術の活用や各種手続のオンライン化を進めるとともに、情報セキュリティ対策の徹底を図る。</li> <li>・デジタルデバインド(情報格差)に適切に対応しつつ、DX推進計画に基づく各種の取組みを進める。</li> </ul>
----	--	----	--

## 【参考】R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	41,680
	繰越	
	補正等	4,500
	最終	46,180
決算額		32,322
対前年度増減額(決算)		28,134

## 【参考】R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	33,060
主な経費	・システム改修費、運用費ほか	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

## R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	33,060
	繰越	4,406
	補正等	6,200
	最終	43,666
決算額		42,097
対前年度増減額(決算)		9,775

## R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	49,160
主な経費	・オンライン申請、システム標準化、AI・RPA活用、電子契約ほか	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>行政手続のオンライン化の拡充 <ul style="list-style-type: none"> <li>・汎用電子申請システムの導入、ワクチン接種予約等での活用促進</li> </ul> </li> <li>システム標準化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合行政情報システムの機能追加や改修</li> <li>・自治体情報システム標準化推進部会の設置、Fit&amp;Gap調査の実施</li> </ul> </li> <li>AI(人工知能)やRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIによる人流調査、窓口混雑状況の可視化</li> <li>・RPAの活用により、新たに学校給食センター、福祉課の業務を効率化</li> </ul> </li> <li>テレワーク等の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークやテレビ会議の通信環境拡充、自治体テレワークシステムの導入(テレワーク延べ3,075人、テレビ会議940回)</li> </ul> </li> <li>セキュリティ対策等の基盤整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県セキュリティクラウドの更新と機能強化</li> <li>・市ネットワーク三層分離の機器更新</li> </ul> </li> <li>その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小中学校から直接インターネットに接続する環境を整備</li> </ul> </li> </ol> <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汎用電子申請システム導入で、職員が受付フォームなどを簡単に作成することができるようになり、オンライン手続の増加、市民の利便性向上、経費削減や業務改善を図ることができた。</li> <li>・AI顔認識システムで得たデータを活用することにより、まちづくりや観光戦略における施策立案に活用できた。</li> <li>・RPAの活用により、定型事務における職員の業務時間とミスの低減を図ることができた。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術を活用することで、利便性の向上や業務の効率化、経費削減などが期待できるため、引き続き拡大して取り組む。</li> </ul> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>行政手続のオンライン化の拡充 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種システムを活用したオンライン申請の拡充</li> </ul> </li> <li>システム標準化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合行政情報システムの機能追加や改修</li> </ul> </li> <li>AIやRPAの活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・AI顔認識システムの活用</li> <li>・RPAの活用</li> </ul> </li> <li>テレワーク等の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークやテレビ会議の推進</li> </ul> </li> <li>その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設における公衆無線LANの整備</li> <li>・DX推進部会を主軸とした全庁的取組みの推進</li> </ul> </li> </ol> <p>[スケジュール]</p> <p>4月～3月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム改修、運用</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術を活用することで、利便性の向上や業務の効率化、経費削減などが期待できるため、引き続き拡大して取り組む。</li> </ul> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>行政手続のオンライン化の拡充 <ul style="list-style-type: none"> <li>・汎用電子申請システムの拡充や申請管理システムの導入</li> </ul> </li> <li>システム標準化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合行政情報システムの新規導入や改修</li> </ul> </li> <li>AIやRPAの活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIによる人流調査、窓口混雑状況の可視化</li> <li>・RPAの活用により、新たに選挙管理委員会事務局の業務を効率化</li> </ul> </li> <li>テレワーク等の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークやテレビ会議の通信環境拡充、自治体テレワークシステムの推進(テレワーク延べ6,028人、テレビ会議825回)</li> </ul> </li> <li>セキュリティ対策等の基盤整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインストレージサービスの導入によるパスワード付ZIPファイルでのデータ送信の廃止</li> <li>・情報セキュリティ強化対策システムの運用</li> </ul> </li> <li>その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設における公衆無線LANの整備</li> <li>・DX推進部会を主軸とした全庁的取組みの推進</li> </ul> </li> </ol> <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汎用電子申請システムを活用し、職員が受付フォームなどを簡単に作成することができるようになり、オンライン手続の増加、市民の利便性向上、経費削減や業務改善を図ることができた。</li> <li>・AI顔認識システムで得たデータを活用することにより、まちづくりや観光戦略における施策立案に活用できた。</li> <li>・RPAの活用により、定型事務における職員の業務時間とミスの低減を図ることができた。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術を活用することで、利便性の向上や業務の効率化、経費削減などが期待できるため、引き続き拡大して取り組む。</li> </ul> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>行政手続のオンライン化の拡充 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種システムを活用したオンライン申請の拡充</li> <li>・タブレット端末等の活用によるペーパーレス化の推進</li> </ul> </li> <li>システム標準化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合行政情報システムの機能追加や改修</li> <li>・電子決裁システムの導入</li> </ul> </li> <li>AIやRPAの活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・AI顔認識システムの活用</li> <li>・RPAの拡充</li> </ul> </li> <li>テレワーク等の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークやテレビ会議の推進</li> </ul> </li> <li>その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・メール配信サービスの拡充</li> <li>・電子契約の導入</li> <li>・DX推進部会を主軸とした全庁的取組みの推進</li> </ul> </li> </ol> <p>[スケジュール]</p> <p>4月～3月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システムの新規導入、改修、運用</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術を活用することで、利便性の向上や業務の効率化、経費削減などが期待できるため、引き続き拡大して取り組む。</li> </ul> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定